

沿岸各地の水温

(4月16～20日)

日本海 10～11℃台
陸奥湾 6～8℃台

津軽海峡 8～10℃台
太平洋 7～8℃台

今回は各地で昇温し、特に泊、八戸では1度以上昇温していました。平均前回差は+0.6度となっています。

昨年と比べると、日本海側・太平洋で-1.0度、津軽海峡側で-0.5度、陸奥湾内で-0.1度となっており、平均昨年差は-0.5度となっています。

平年と比べると、日本海ではやや高め、その他海域では平年並みとなっており、平均平年差は+0.4度となっています。

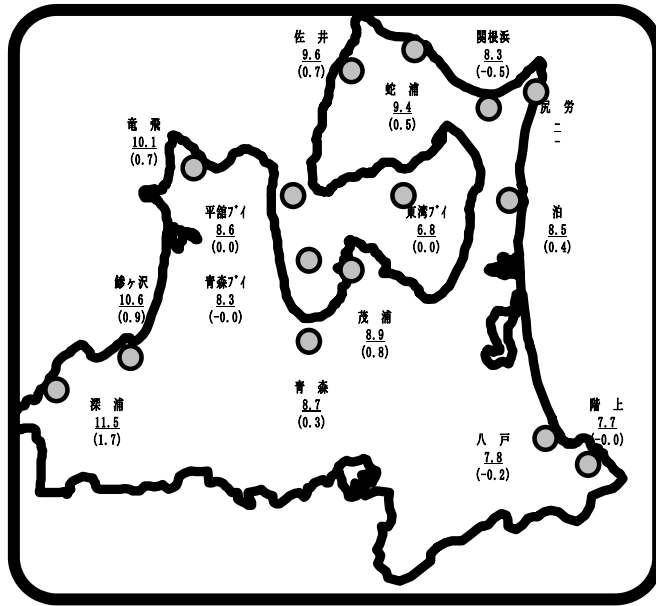


図 定地水温 (4月16～20日)
平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	11.5	+1.7	-0.1	+0.2
鯨ヶ沢	10.6	+0.9	-1.9	+0.5
竜飛	10.1	+0.7	+0.3	+0.3
佐井	9.6	+0.7	-0.4	+0.3
青森	8.7	+0.3	-0.5	+0.7
蛇浦	9.4	+0.5	-0.8	+0.6
関根浜	8.3	-0.5	-1.1	+0.3
尻労	-	-	-	-
泊	8.5	+0.4	-1.1	+1.3
八戸	7.8	-0.2	-0.8	+0.7
階上	7.7	-0.0	-1.2	+0.5
茂浦	8.9	+0.8	+0.2	+1.0
平館ブイ	8.6	+0.0	+0.2	+0.3
青森ブイ	8.3	-0.0	-0.2	+0.3
東湾ブイ	6.8	+0.0	+0.1	+0.6
平均	8.9	+0.4	-0.5	+0.6

太平洋の海況 (4月17～20日)

概況；沿岸水温は6～8℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

6～8℃台で、前回と比べ1～2度昇温しています。前年同期と比べ1～2度低い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

5℃等温線でみると東経141度40分付近までで、張り出しは前回と変わっていません。

○親潮系冷水の南下

5℃等温線でみると北緯37度50分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

日本海の海況 (4月17～20日)

概況；沿岸水温は9～10℃台

○日本海沿岸域の表面水温

9～10℃台で、前回と比べ変わっていません。前年同期と比べ同程度の水温となっています。

◎イカナゴ稚仔分布調査結果 (陸奥湾～津軽海峡)

2008年4月8～9日に試験船青鵬丸によるボンゴネット往復傾斜曳(水深0～50m)で、陸奥湾～津軽海峡でのイカナゴ稚仔分布調査を行いました。その結果、4月の採集個体数は35個でした(図1)。今年の稚仔分布密度は2002年以降、もっとも低い値でした(図2)。また、稚仔の体長は4～20mmの範囲で小型個体が主体ですが、一部14～16mmサイズが出てきました(図3)。水温は概ね平年並みでした。

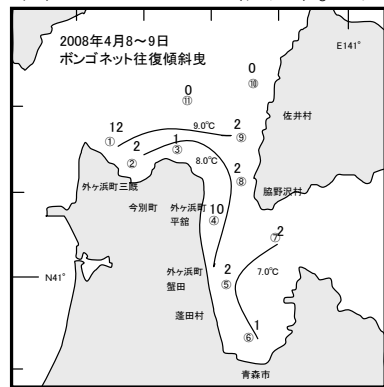


図1 ボンゴネット水深0～50m往復傾斜曳によるイカナゴ稚仔採集個体数
(①～⑫：St.No.、数字：採集個体数)
(水温は水深20m層)

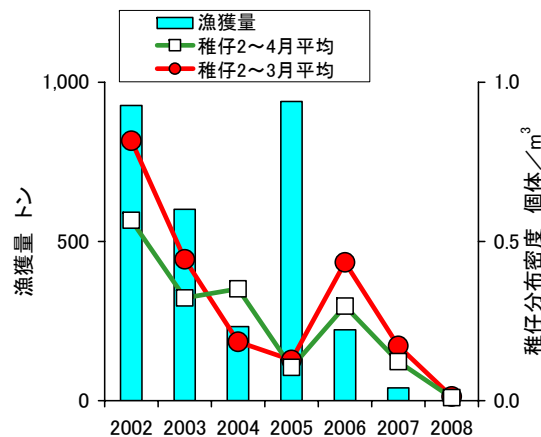


図2 イカナゴ稚仔分布密度と漁獲量の経年変化 (陸奥湾～津軽海峡)

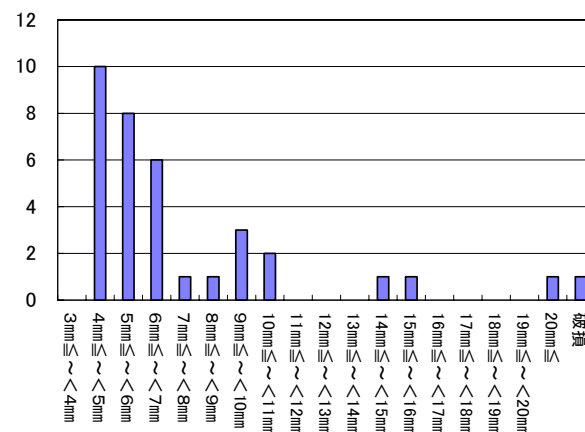


図3 4/8～9調査イカナゴ稚仔体長組成 (陸奥湾～津軽海峡)



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第6号 4月21日

●六ヶ所沖の水温

	No.1ブイ		No.2ブイ	
	水深4m	水深5m	水深5m	水深20m
4月11～15日	6.37	6.27	6.27	6.62
前回差	1.07	1.03	1.03	1.42

※No.1ブイは40-58N, 141-25E、No.2ブイは40-57N, 141-25E